

5 長期資金運用・調達状況

長期資金運用・調達総額は、16年度4,706億円(対前年度比12.8%増)、17年度計画額は、3,874億円(同17.7%減)となっている。

(1) 長期資金運用

16年度の資金運用をみると、設備投資所要資金額2,650億円(対前年度比0.1%減)、投融資748億円、短期資金への振替1,308億円(対前年度比23.3%減)となっており、資金運用総額に占める割合は、設備投資所要資金額が56.3%、投融資が15.9%、短期資金への振替が27.8%となっている。設備投資所要資金額の割合は、15年度と比べて減少している。

17年度計画額については、設備投資所要資金額3,135億円(対前年度比18.3%増)、投融資12億円(同98.4%減)、短期資金への振替727億円(同44.4%減)となっており、資金運用総額に占める割合は、設備投資所要資金額が80.9%、投融資が0.3%、短期資金への振替が18.8%となることが見込まれる。

15、16、17年度の3年間をみると、設備投資所要資金額が増加し、運転資金等の短期資金への振替が減少することが見込まれる。

(2) 長期資金調達

16年度の資金調達をみると、自己資金4,538億円(構成比96.4%)、株式6億円(同0.1%)、社債222億円(同4.7%)、借入金385億円(同8.2%)となっている。

17年度計画額については、自己資金4,106億円(構成比106.0%)、社債524億円(同13.5%)、借入金293億円(同7.6%)となっている。

15、16、17年度の3年間をみると、社債での調達が減少し、償還超過の増大が見込まれる。また、借入金は16年度で増加し、17年度で減少するものの、政府系金融機関からの借入れは増加する傾向にある。

長期資金運用・調達の実績及び計画

(単位：百万円・%)

区 分	1 5 年 度		1 6 年 度		1 7 年 度		対前年度比		
	(実 績 額)		(実 績 見 込 額)		(計 画 額)		16 / 15	17 / 16	
	(A)	構 成 比	(B)	構 成 比	(C)	構 成 比	(B) / (A)	(C) / (B)	
長期資金運用	設備投資所要資金額	265,301	63.6	264,991	56.3	313,522	80.9	0.1	18.3
	投 融 資	18,767	4.5	74,843	15.9	1,183	0.3	-	98.4
	短期資金への振替	170,587	40.9	130,774	27.8	72,725	18.8	23.3	44.4
	合 計	417,121	100.0	470,608	100.0	387,430	100.0	12.8	17.7
長期資金調達	株 式	179	0.0	601	0.1	-	-	235.8	-
	社 債	9,132	2.2	22,249	4.7	52,429	13.5	-	-
	国 内 社 債	15,482	3.7	27,649	5.9	44,829	11.6	-	-
	海 外 社 債	6,350	1.5	5,400	1.1	7,600	2.0	15.0	-
	借 入 金	22,234	5.3	38,496	8.2	29,252	7.6	73.1	24.0
	政府系金融機関	6,465	1.5	1,284	0.3	5,910	1.5	-	360.3
	民間金融機関	28,699	6.9	37,212	7.9	23,342	6.0	29.7	37.3
自 己 資 金	403,840	96.8	453,760	96.4	410,607	106.0	12.4	9.5	
合 計	417,121	100.0	470,608	100.0	387,430	100.0	12.8	17.7	

[付表7 (p27~29)参照]